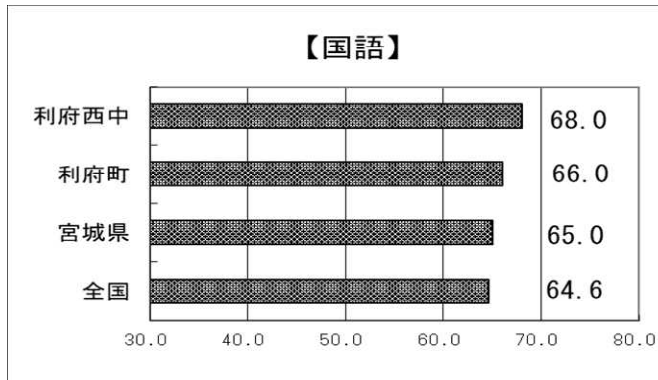


## 令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果とこれからの取組

今年の5月27日（木）に、全国の公立中学校に通う3年生を対象に、「全国学力・学習状況調査」が行われ、その結果が各校に8月下旬に届きました。これに基づいて、この度、本校の生徒の学習や生活の状況について、良さや課題についてまとめましたので、お知らせいたします。

### 1 学力調査の結果

#### 【国語】 平均正答率%

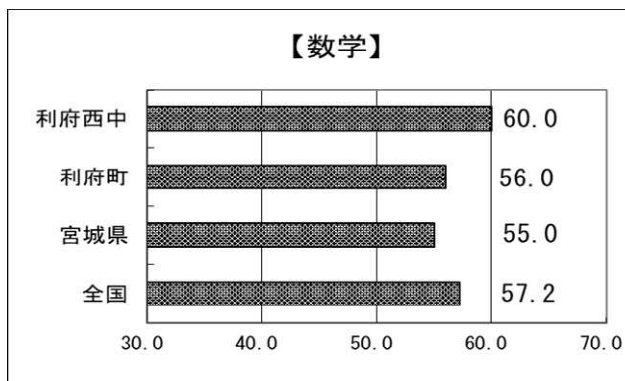


- ・国語については、全国の平均正答率を3.4ポイント上回っており、国語の基礎・基本の力がしっかりと身に付いていることが分かりました。
- ・「話す・聞く能力」の項目では、全国平均を2.2ポイント、「書く能力」では4.3ポイント、「言語についての知識・理解・技能」では6.4ポイント上回る結果となりました。
- ・「読む能力」の項目では、全国平均を0.9ポイント下回り課題が見られました。

具体的な学習状況 (◎よくできていた点 ●課題としてあげられる点)

- ◎ 意見文の下書きの構成の工夫について、自分の考えを書く問題について正答率が高くなっていました。
- ◎ 相手や場に応じて適切に敬語を使う問題について、正答率が高くなっていました。
- 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する問題に課題が見られました。
- 文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ問題に課題が見られました。

#### 【数学】 平均正答率%



- ・数学については、全国の平均正答率を2.8ポイント上回っており、数学の基礎・基本の力がしっかりと身に付いていることが分かりました。
- ・全領域（数と式、図形、関数、資料の活用）、全観点（数学的な見方・考え方、数学的な技能、数量や図形などについての知識・理解）で全国平均を上回る結果となりました。

具体的な学習状況 (◎よくできていた点 ●課題としてあげられる点)

- ◎ 整数の加法と減法の計算、ヒストグラムからある階級の度数を読み取る問題、錯角が等しくなるための2直線の位置関係を問う問題、目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明する問題で、正答率が特に高くなっていました。
- ◎ 領域では数と式、観点別では数学的な技能について、正答率が特に高くなっていました。
- 扇形の中心角と弧の長さや面積との関係を求める問題で課題が見られました。
- データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題、ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現する問題などで表現力に課題が見られました。

## 2 今後の取組について

### (1) 国語

- 漢字の書き取り問題に取り組む時間を定期的に設け、基礎・基本の知識の定着に努めていきます。
- 物語の内容を読み取る活動では、登場人物の言葉や行動から心情を捉えさせる活動を繰り返し行うことで、読解力を高めさせていきます。
- 文章の内容を基に、自分の考えを書く場面を単元ごとに設定し、内容の定着とともに思考・表現・判断力の育成を図っていきます。
- 朝読書のこれまで以上の推進や、多くの書物に触れる機会を設け、図書館教育の充実を図り、本を好きな生徒の育成に努めます。

### (2) 数学

- 今後も毎週末、週末課題に取り組みその週の授業の内容の確認とともに、既習事項の確かな定着を目指します。
- 授業において思考力の育成を意識した課題設定と、数学的用語を用いた表現活動を多く取り入れていきます。
- 学び合い学習を効果的に取り入れ、校内研究とも関連させ授業を通して質問し合える関係性の構築を今後も目指します。

学力の向上に向けて西中では、以下の点に力を入れてきます

### ① 分かる授業の実践

- ・「学び合い」活動をする場面、コミュニケーションをとる場面等、話し合い活動をさらに取り入れます。
- ・授業において、ねらいを明確にし、探究的な課題を提示していきます。
- ・校内研究と関連させ、生徒指導の三機能（自己決定、自己有用感、自己存在感）を生かし生徒に活躍の場がある授業を目指し、授業改善をしていきます。
- ・iPad を効果的に活用していきます。

### ② 家庭学習の充実

- ・家庭学習と授業のサイクル化を目指し、授業の復習となる課題、次の授業に生かせる課題を提示していきます。

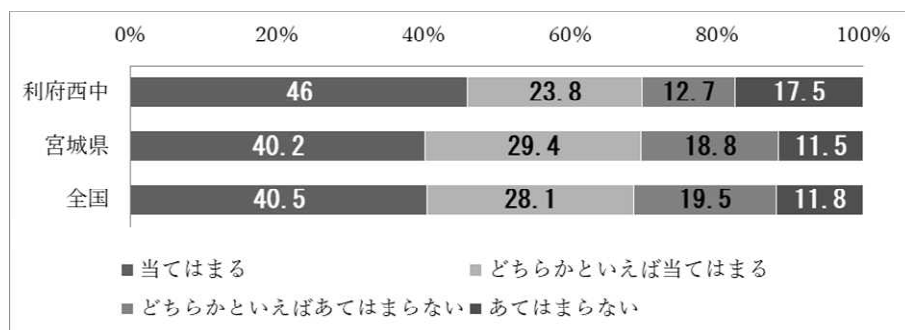
### ③ 自己有用感の育成

- ・授業において、何が良かったのかを具体的に認め、褒め、意識付けをしていきます。
- ・生徒同士が認め合う場面をより多く設定していきます。

## 3 学習状況調査の結果

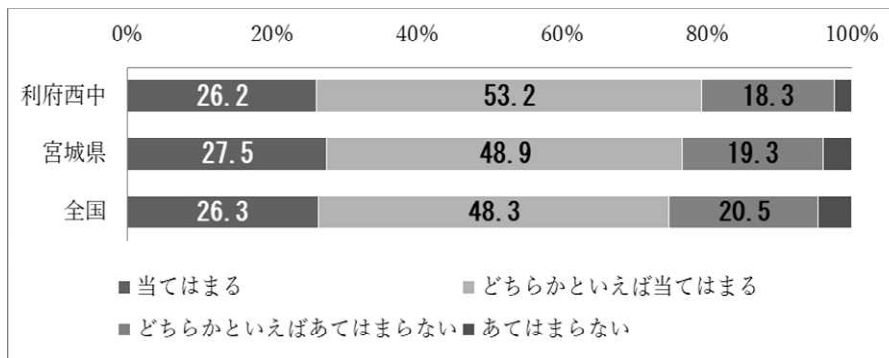
### (1) よい傾向が見られる項目

#### ① 将来の夢や目標をもっていますか。



全国平均に比べ、「そう思う」と回答している生徒の割合が 5.8 ポイント高くなっています。今後も将来や自分の生き方について考えるキャリア教育や志教育の充実を目指し、自己実現に向けて生徒一人一人に寄り添い支援していきます。

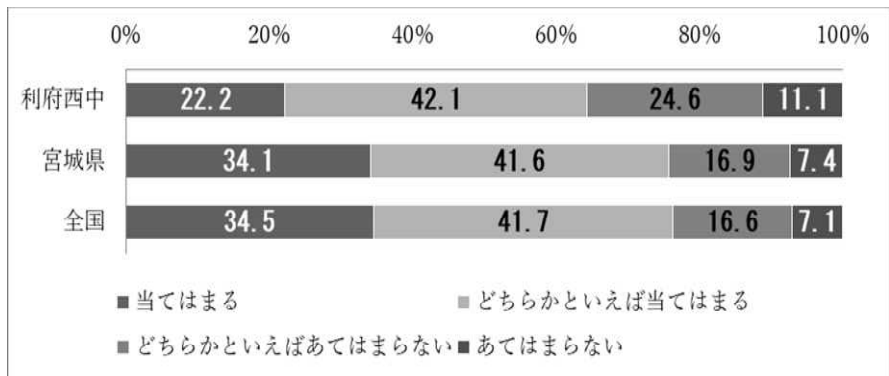
② 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。



全国平均に比べ、「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」と回答している生徒の割合が 4.8 ポイント高くなっています。今後も学習習慣の形成に力を入れるとともに、お互い疑問に思ったり分からなかったりしたことを聞き合える関係性の構築に努めていきます。

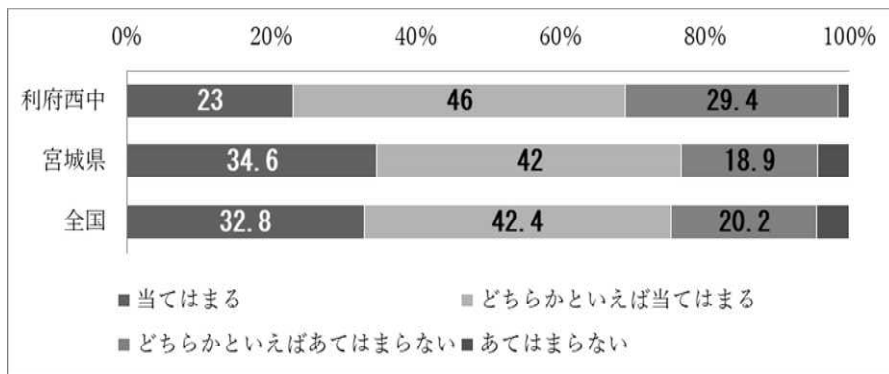
(2) 改善が必要と思われる項目

① 自分には、よいところがあると思いますか



全国平均に比べ、「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」と回答している生徒の割合が 11.9 ポイント低くなっています。今後も、授業等で生徒一人一人を認め、褒めて勇気付ける声掛けを続けていきます。何が良かったのか具体的に示し、共感的な人間関係を目指し、自己有用感の育成に努めていきます。

② 自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか。



全国平均に比べ、「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」と回答している生徒の割合が 6.2 ポイント低くなっています。授業において、学び合いを活用し表現活動を多く取り入れるとともに、生徒が主体的に取り組める行事や特別活動の充実を図っていきます。